

第12回食育推進全国大会開催結果について

●開催の経緯

21世紀における我が国の発展のためには、全ての国民、特に子供たちが豊かな心と健やかな身体を育むことが重要であり、様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められています。

平成17年7月に施行された食育基本法に基づき作成された食育推進基本計画では、毎年6月を「食育月間」として定めるなど、食育を国民運動として推進することとしています。

以上を踏まえ、食育推進全国大会は、食育月間における中核的行事として、食育に対する国民の理解を深めるとともに、食育の取組への積極的な参加を促し、もって国民の健全な食生活と豊かな人間形成に大きく寄与することを目的として開催しています。

本年の「第12回食育推進全国大会」は、平成29年6月30日（金）、7月1日（土）に岡山市の岡山コンベンションセンターとジップアリーナ岡山の両会場において、農林水産省、岡山市、第12回食育推進全国大会岡山市実行委員会の主催により開催しました。

岡山市では、子供のときから最も身近で大切な家庭を拠点と位置づけ、保育所や学校園、行政機関、地域ボランティア、農林漁業者等が家庭に働きかけていくことにより食育を推進しています。岡山市での取組を全国に発信するために全国大会の開催を目指し、平成28年3月に開催地として決定されました。

●開催にあたっての準備

本大会を実施するにあたり、農林水産省と岡山市の連携は勿論、関係機関・団体の皆様に多大なご協力をいただきました。

特に岡山市では、平成28年8月2日に「第12回食育推進全国大会岡山市実行委員会」を立ち上げ、イベント企画、出展者募集、大会告知等の大会実施の重要な役割を担っていただきました。

また、ブース出展を募集したところ166団体149ブースの出展応募があり、それぞれの団体・企業が短い準備期間の中で、出展にご協力いただきました。

広報については、各報道機関等のご協力により、多様なメディア媒体による広報を実施していただき、積極的かつ効率的な事前PRを行うことができました。

●大会の概要

大会テーマを「食育は人づくり！みんなでええ『食』を次世代へ～桃太郎のまち岡山から 未来へつなげる食と健康～」と設定し、未来を担う子供達への食育推進、またESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を取入れた食育推進を全国に発信しました。

岡山コンベンションセンターでは、大会初日（6月30日）には、コンベンションホールに於いて、細田健一農林水産大臣政務官、大森雅夫岡山市長等の出席のもと開会式を行いました。最初にオープニングイベントとして、「そうさ俺達ジョニー一家只今参上！！Rolling Special」によるうらじゃ演舞により幕を開け、主催者挨拶、来賓祝辞ののち食育活動表彰を行いました。

午後には、「おいしい食で体をつくろう」をテーマに朝原宣治氏（大阪ガス㈱北京オリンピックメダリスト）の基調講演とパネルディスカッションを開催。さらに、「連携と人づくり」をテーマに足立己幸氏（女子栄養大学名誉教授）の講演と表彰受賞者による事例発表を行いました。

また、レセプションホールでは、小松泰信氏（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）をコーディネーターに、生産者3名をパネリストに迎え、一次生産者シンポジウム「ライフスタイルの変化と現代の食～伝えたい！食材に込めたメッセージ～」を開催しました。

その他、岡山市立石井小学校では、1年生1クラスで、食育公開授業を行いました。

大会2日目（7月1日）は、コンベンションホールにおいて、さかなクン（国立大学法人東京海洋大学名誉博士／客員准教授）による特別講演、土井善晴氏（料理研究家／おいしいもの研究所代表）による記念講演を開催しました。

また、レセプションホールでは、江草聡美氏（（株）バイトマーク代表取締役）をコーディネーターに、市内の5高等学校の生徒をパネリストに迎え、高校生シンポジウム「私たちの将来の食を考える～“未来”のために“今”できること～」を開催しました。

その他、両日を通じて、各会議室において食育関連団体等による「講演会」「ワークショップ」等を開催しました。

岡山コンベンションセンターのイベントホールとジップアリーナ岡山では、107ブースによる食育展示を行い、活動等を記したパネル展、子供向けの体験コーナー、調理実演や試食提供など、ブースごとに特色豊かな企画が展開されました。さらには、岡山コンベンションセンターのイベントホール内にステージ・キッチンステージを設け、団体・企業による食に関するイベント等を実施しました。

また、岡山コンベンションセンター2階ロビーでは、保育園・幼稚園・こども園・小中学校による食育展示、ジップアリーナ岡山1階ロビーでは都道府県の食育パネル展示を開催しました。

岡山コンベンションセンター屋外広場、ジップアリーナ岡江北側園路の屋外会場には42のさまざまな飲食物販ブースを設け、地元岡山の特産品、郷土料理等を来場者に提供しました。

その他、岡山駅東口広場には、サテライト会場として、本大会の会場への誘導を目的に、案内ブースや食育ミニゲームコーナー等を設けました。

大会期間中は、JR北長瀬駅前に臨時駐車場を設け、当該駐車場と岡山コンベンションセンター、ジップアリーナ岡山の両会場間を結ぶシャトルバスを運行し、多くの来場者にご利用いただきました。

さらに、関連イベントでは、大会オリジナル米粉パンやジェラートの販売、また、両会場間を楽しく歩く「健康づくりウォークラリー」、子供達に食について頑張ることを宣言してもらう「岡山っ子宣言」を実施しました。

●終わりに

本大会は2日間で約21,200人の皆様にご来場いただきました。

大会の最後は、コンベンションホールにおいて、岩本健吾農林水産省大臣官房審議官（兼消費・安全局）、大森雅夫岡山市長等の出席のもと、閉会式を行いました。はじめに、明誠学院高等学校吹奏楽部による吹奏楽の演奏があり、主催者挨拶ののち、第12回食育推進全国大会「岡山市の大会イメージ」デザイン表彰がありました。続いて、岡山県立岡山南高等学校書道部による書道パフォーマンスがあり、次期開催地の柴田尚子大分県生活環境部長の挨拶と引き継ぎをもって閉会しました。

会期中、岡山コンベンションセンターとジップアリーナ岡山では様々なイベントを実施し、岡山の食育を県内外に発信をすることができました。多くの来場者に美味しく楽しく食を学んでいただいたことで、当初の目的である食育への関心を高めることを達成し、盛会のうちに幕を閉じました。